

紫外線ランプによる新型コロナウイルス不活化

紫外線により新型コロナウイルスが数秒で不活化することが各機関の実験で証明されています。

多くの装置が市販されていますが

「快適イオン」には、設計当初より搭載しており、紫外線ランプの働きと下記の特徴があります。

- ・病原性大腸菌（O-157）や新型肺炎（SARS）
- ・オゾンの強力な除菌力でカビ菌を死滅させ防カビ効果を発揮します。
また、ヌメリや黒ずみも抑えることができます。
- ・強力なマイナスイオンを発生しアレルギーを引き起こす物質
PM2.5 やウイルス・ホコリ・花粉症」物質を吸着、沈殿させ、空気中に舞い上がることを抑制します。
- ・オゾンによる脱臭・消臭は、悪臭を他の臭いで包み込み、ごまかしているだけの芳香剤とは違い、悪臭の素をオゾンで分解します。
- ・一番気になるトイレ臭は、アンモニア、硫化水素、メチルメルカプタン、トリメチルアミンなどが主要成分です。これらの悪臭物質は、酸素原子との反応が非常に速いため、オゾンの強いにより分子レベルで分解され消臭します。また、壁、天井、床、カーテン、クッションなどに染みついた臭いの除去にも効果があります。
- ・シックハウス症候群の原因で有害なホルムアルデヒド（ホルマリン）は、オゾンによりギ酸と酸素に分解します。

日常的に使われている紫外線除菌

- ・昔から、太陽で布団を干すのも、紫外線の殺菌効果を利用したもの。
湿気を取り乾燥するだけでなく、ダニや除菌の効果があることを昔の人は知っていた
- ・医療機関などで手指消毒、布団用掃除機、赤ちゃんの哺乳瓶を滅菌、浄水器の除菌他

厚生労働省では、卵の表面に付着するサルモネラ菌や、理・美容室でのカミソリ使用時、紫外線殺菌を義務づけています。また、平成19年3月には、地表水以外の水を扱う施設において紫外線処理を新たに位置づけるとも発表しています。このように、紫外線照射による除菌は厚生労働省も認めている殺菌方法と言えるでしょう。